

# リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

## L 業界初の新商品は 認知症対応の保険

【率いる】 Leading

太陽生命保険の最新のトピックスは、今月発売を開始した「ひまわり認知症治療保険」。業界初となる認知症の治療を支援する商品で、すでに多くの反響を呼んでいる。

「厚生労働省によると、認知症患者は2025年には約700万人に達し、65歳以上の約5人に1人が認知症になると言われています。認知症は、早期にケアや治療を行うことで、進行を遅らせたり、症状を緩和させたりできる病気です。この保険に加入することで、認知症に前向きに向き合い、健康な老後をお送りいただきたい。お客様の幸せと、超高齢時代を迎えた日本社会の課題解決に貢献する会社であり続けたいですね」

同社の創業は1893年。2004年に大同生命保険、ティ・アンド・ディ・フィナンシャル生命保険とともに、持ち株会社、T&Dホールディングスを設立した。太陽生命の主な顧客層は、女性や高齢者。08年に発売を開始し、看板商品に成長している「保険組曲Best」は、累計販売件数が200万件を突破した。

田中勝英社長は、太陽生命の生え抜きで、業務改革などに尽くしてきた。「15年前、お客様窓口のある支社の作業員は、膨大な数にのぼりました。作業とはつまり、書類のコピーなど単純な事務作業です。仕事は本来、新たな価値を生むべきもので、作業からそれは生まれません。私はお客様サービス部門にいた際は、作業の機械化などにあたりました」

### 業務改革により開発と営業を強化

業務改革の背景には、05年に社会問題化した保険金の不払い問題がある。「請求がないため支払いを行わない」という請求主義から、「請求がなくとも支払うべき」という案内主義に、業界全体がシフトした。

「真摯に反省し、業務改革を加速。営業職員用の携帯端末の高機能化や、契約加入手続きのペーパーレス化などを推進した結果、支社業務にかかる人員を大幅に減らすことに成功。新たな価値の創造とお客様とのコミュニケーションに人材を振り向けられるようになりました」

田中社長の口ぐせは、「お客様を追いかけなくても保険金を支払え」。70歳以上の契約者の全軒訪問も指示した。

「お客様の中には、『病院で書類をもらったが、請求手続きをしないのが面倒』という方も多く、営業担当が丁寧にご案内し、サポートさせていただいています」

顧客も社員も女性が多いことから、女性支援に積極的で、ラグビー女子日本代表やアイスホッケー女子日本代表、プロゴルファーのテレサ・ルーなど、女性アスリートの支援なども行う。「当社が支援する選手たちは成長が著しく、それはちょっとした自慢」とほほ笑む。

最後に経営信条を聞くと、「夢を持ってない人はリーダーの資格がない。夢を伝えられない人はリーダーの資質がない。過去に責任を持ち、未来に夢を持つ」という言葉をくれた。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、田中勝英さんが語るリーダー論を紹介しています。  
<http://adv.asahi.com>  
朝日新聞 広告 検索



太陽生命保険 代表取締役社長

## 田中勝英 さん

1954年香川県生まれ。77年慶應義塾大学経済学部卒。同年太陽生命入社。2000年契約サービス部長。取締役、常務取締役、お客さまサービス本部長、代表取締役専務執行役員などを経て、09年代表取締役副社長兼営業本部長。11年4月から現職。

### 田中勝英さんのおすすめ本棚

『草莽論 その精神的自己検証』(大和書房) 村上一郎・著 (品切れ再販未定)  
明治維新に至る一筋の流れに草莽の承継をたどり、精神の自立者として、時代変革への先駆者たる草莽とは何かを問う。著者最後の書き下ろし。

『司馬遷 史記の世界』(講談社文芸文庫) 武田泰淳・著  
「司馬遷は生き恥をさらした男である」に始まる、著者の中国体験もふまえた戦中の苦渋の結晶。日本の気風による歴史から離れ、新たな歴史認識を展開。

『厄除け詩集』(講談社文芸文庫) 井伏鱒二・著  
そこはかたなきおかしみに憂鬱を秘めた「なだれ」などの初期詩編、有情に満ちた漢詩調、深遠な詩魂あふれる「黒い蝶」など、井伏鱒二の詩約60編を収録。

『最後の晩餐』(光文社文庫) 開高健・著  
「腹のことを考えない人は頭のことも考えない」S・ジョンソンの絶好の格言に導かれ繰り返される、古今東西、人の飽きた欲望を思い知らせる食談の数々。

『小林秀雄全集』全14巻/別巻2/補巻3(新潮社) 小林秀雄・著  
文壇デビュー評論「縁々な意匠」、『朝の自叙』、翻訳「ランボオ詩集」、晩年の大作「本居宣長」など、小林秀雄の全作を網羅。

# R

【読む】 Reading

## 25歳までの読書が自分を形づくった

太陽生命保険は、「保険組曲Best」「ひまわり認知症治療保険」など、時代のニーズを捉えた保険商品を業界に先駆けて開発し、支持を得ている。こうした商品開発の指揮をとってきたのが、田中勝英社長だ。多忙な日々の息抜きは、読書。「読書を通じて先人と対話することで、知恵や勇気を得る。特に若い時の読書は、人生の宝です」と話す。

### 草莽の人々に触発され 改革精神を養った

「人の一生の本質は、25歳までの経験と思考が決定する。開高健は、そう語った。なるほど共感する言葉で、私の場合、とりわけ25歳までの読書が自分を形づくったと思っています。高校時代は小説を読みあさり、大学時

代は、日本文化研究会というクラブに入ったことで、読書の幅を広げました。クラブのメンバーがみな本好きで、おすめ本をやり取りする環境だったのです。今も心に残っているのは、先輩にすすめられて読んでいた村上一郎の『草莽論』その精神史的自己検証。蒲生君平、宮林蔵、高野長英、吉田松陰など、草莽の知識人に焦点を当て、明治維新に至る日本の思想史をひもときます。日夜学問

と思考を重ね、国のあり方を変えようとした人たちの生きざまに触発され、私も一丁前に「乃公出ずんば若生を如何にせん」という勢いで、草莽の人々にあこがれました。結局は普通のサラリーマンになりましたが、太陽生命で様々な改革に取り組めたのは、読書の影響もあつたと思います。高校の国語の授業で漢文に興味を持ったのをきっかけに、中国語を習いました。自然と中国史への興味を深め、中島敦や武田泰淳など中国史に精通する作家の作品も読むようになりました。中島は武帝の逆鱗に触れた悲運の軍人。李陵の小説を書いています。その李陵を弁護した罪で「宮刑」の辱めを受けた司馬遷の苦悩を追い、「史記」を究明に読み解いた一冊が、『司馬遷史記の世界』です。司馬遷は、年代順に事実を並べるだけの編年体にとられず、英雄豪傑から悪人まで、「人間の歴史」を描きました。その執念の裏に「一雁」があつたことを、著者の武田泰淳は鋭くえぐり出します。武田の代表作「ひかりごけ」にまさる秀作だと思えます。

### 開高作品の魅力は「饒舌な淡白さ」

開高健の作品は、全作読んでいます。あえて「この一冊」を選ぶなら、「最後の晩餐」でしょうか。古今東西の食について、開高が豊富な知識と経験を織り交せて切り込んでいきます。戦乱、飢饉、漂流といった極限状態における食欲、王族や食通たちの食の道楽、庶民の食卓、はては食人にまで切り込んでいくのですから、一筋縄ではいきません。開高作品を読んでいて感じるのは、「饒舌な淡白さ」です。磨き抜かれた言葉の量もリズムもよく繰り返され、その情報の濃さ

度も相当なものながら、ちっとも読み疲れしない。本作について言えば、手の込んだごちそうをたらふく食べたのに、胃もたれしない、という感じでしょうか。小林秀雄も好きな作家で、「小林秀雄全集」をそろえました。どの作品というよりも、物事を徹底的に掘り、真実を探り当てようとする小林の思考の軌跡そのものに惹かれます。例えば、『二つの脳髓』という小説の中に、「夜、壁を舐めた事があった」という描写が出てきます。なぜ壁を舐めたのか、どんな精神状態だったのか、舐めるという行為にどんな意味があるのか、あれこれ想像をめぐらせるのが楽しい。小林は「考へるヒント」という作品も書いていますが、まさに考えるヒントをもらえる作家です。本居宣長、坂口安吾、ランボオ、ベルクソンなど、小林の批評を通じて関心を持った人物も少なくありません。

若き日に読み、心に残る本を挙げました。読書好きは今も変わりません。最近の本の重さがこたえ、交通移動の時はもっぱら電子書籍です。便利な世の中になりました。読むジャンルとしては、歴史書、特に日本の古代史や、日本と近隣諸国との関係史に興味を深めています。日本人はどこから来て、どこに向かうのか。本がくれるお題は尽きません。(談)



**三笠書房** 千代田区飯田橋3-3-1  
 ●詳細は⇒<http://www.mikasashobo.co.jp>  
 ●(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398899  
 (9:30~19:00)からもご購入いただけます。

心屋仁之助の王様文庫シリーズ  
**120万部突破!**  
 最新刊  
 「波風」をこわがらないと人生がもっと面白くなる!

最新刊  
**準備が整った人に、奇跡はやって来る**  
 ウェイン・W・ダイアー [著] 渡部昇一 [訳]  
 あなたの毎日が好転する15の方法 ISBN978-4-8379-6780-4

最新刊  
**心屋仁之助の「いい人をやめてスッキリする話」**  
 性格リフォームカウンセラー  
 心屋仁之助の「いい人をやめてスッキリする話」  
 自分に素直になるって、楽しいよ  
 人づきあひも、気になるあのことも……  
 「波風」をこわがらないと人生がもっと面白くなる!

最新刊 たちまち**3刷!**  
 始める、進める、続ける  
 禅の活かし方

最新刊 たちまち**3刷!**  
**考える前に動く習慣**  
 行動的な1日をつくる「禅的習慣」  
 考えすぎるのではなく、無思慮になるのでもなく、ただシンプルに「一歩踏み出す」。  
 —人生は、ここから好転する

最新刊 たちまち**3刷!**  
**考える前に動く習慣**  
 行動的な1日をつくる「禅的習慣」  
 考えすぎるのではなく、無思慮になるのでもなく、ただシンプルに「一歩踏み出す」。  
 —人生は、ここから好転する

「1分間で信頼される人」の話し方  
**今日、結果が出る!**  
**発売4週間 3.5万部!**

**頭のいい説明「すぐできるコツ」**  
 鶴野充茂  
 ISBN978-4-8379-2626-9

人は「正論」で動かない。「話し方」で動く  
**50万部突破のベストセラー 待望の図解版!**

要約 コツコツ スッキリ! フォール  
 要点 主役 ワン枚  
 タイトル 一言で言うこと? つまり、  
 視覚化 半年で3倍!

1分間で信頼される人の話し方  
 人は「正論」で動かない。「話し方」で動く